

普及だより



写真説明 左上：スマート農業研修会 右上：温州ミカン剪定講習会
左下：種ショウガ収穫調査 右下：貯蔵ミカン果実調査

皆様におかれましては、協同農業普及事業の推進に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。昨年来、新型コロナウイルス感染症により、日本の経済・社会に大きな影響が生じ、農業においても畜産や花きを中心に打撃を受けています。また、鳥インフルエンザや豚熱など家畜伝染病も発生しており、これらのウイルスは海外からの持ち込まれたもので、改めてグローバル化した社会経済の中でのリスク管理の難しさを感じています。

さて、農業は食料を安定供給するとともに地域の経済やコミュニティを支える重要な産業ですが、農業者の減少や高齢化が進んでいます。昨年公表された2020年農林業センサス（概数値）によると県内の農業経営体が5年前と比べて3,355経営体減少しており、これは海草振興局管内の農業経営体の合計とほぼ同じ数値ということで大変な危機感を覚えます。

しかしながら、一方では販売金額が1,000万円以上の農業経営体は増加しており、規模拡大や6次産業化など経営の多角化により経営を発展に成功した経営体も多く、農業経営体の減少をチャンスと捉えている経営者や就農希望者も見られます。

このような中、県では令和3年度新たに県産品の販売促進に向けたポータルサイトを開設するほか、篤農家の持つ栽培技術を産地の継承する取り組みを支援していくこととしています。また、振興局では3年に一度「普及指導基本計画」を策定して地域農業の振興に向けて計画的な活動を行うこととしており、今回新たな基本計画（R3～5年度）を策定しました（裏面）。今後も農業者や関係機関の皆様と連携して地域農業の課題解決に向けて職員一同、鋭意取り組んでまいりますのでご協力よろしくお願ひします。

令和3年～5年度 普及指導計画

【重点課題】

次世代につなぐ下津みかん産地活性化プロジェクト

下津みかん産地では農業者の高齢化や後継者不足が問題となっていますが、近年は特産の「蔵出しみかん」を中心に販売価格が安定し、平成31年2月には「下津蔵出しみかんシステム」が日本農業遺産に認定されるなど、産地にとって追い風が吹いています。また、平成30年度～令和2年度で取り組んだ普及指導重点プロジェクトで農業士会員などを中心に産地の危機を認識し将来に向けて活性化したいという機運も高まっていることから、引き続き普及指導計画重点プロジェクト活動（令和3年度～5年度）として、①新規就農者の確保及びサポート体制強化、②新品種「植美」の導入、③省力化施設及び機械の導入推進、④守るべき農地の明確化と担い手への農地流動化について、JANAがみね、海南市、農業者等と一体となって取り組んでいきます。



【一般課題】

和歌山市内での種ショウガ生産拡大

和歌山市は新ショウガの産地ですが、植え付ける種ショウガのほぼ全量を県外から購入しています。近年、気象や病害の影響で県外での生産が不安定になっており、安定確保が課題となっています。そこで、関係機関が協力して、近隣地域での種ショウガ栽培の導入を進めています。

令和3年からも引き続き、市内の水田転換畑での種ショウガ栽培の支援と砂地畑での栽培技術の確立を図り、種ショウガ栽培の生産拡大に取り組んでいきます。



【一般課題】

新規就農者の技術向上支援

産地の維持活性化のため、担い手の育成が重要な課題となっています。しかし、新規就農者の中には、技術不足等の原因により経営が不安定となり、農業を続けることが難しくなる場合があります。そこで、新規就農者の経営力及び技術力向上を目的に、令和3年度より新たな支援策に取り組めます。

経営面に関しては、希望者に対して経営計画の作成支援を行います。また、技術面に関しては、引き続き野菜・果樹などの技術研修を開催するとともに、先進農家と新規就農者のマッチングや個別相談会の開催に取り組んでいきます。



受賞おめでとうございます！

【農事功績表彰】



橋詰 孝氏(海南市)

有機肥料の施肥、無摘果、枝つり栽培、隔年結果の発生を抑制する剪定の技術により温州みかんの連年高反収、高品質化を実現されました。また、県指導農業者として、若手農業者への技術指導や長年にわたる農業研修生受け入れなど、農業後継者の育成にも貢献されました。

【和歌山県農林水産業賞】



曲里 雅人氏(紀美野町)

果樹の優良系統の導入や草生栽培による環境保全型農業の実践など、新たな技術を積極的に導入するとともに、若手農業者の指導に熱心に取り組んでこられました。また、和海地方農業士会の副会長などを歴任し、農業士会活動を通じて地域農業の振興に貢献されました。

【和歌山市農林水産業表彰】



吉本 久美氏(和歌山市)

ブドウ、柑橘、ウメの複合経営に取り組み、直売及び宅配で消費者に接する販売を行うとともに、幼稚園児を収穫体験に招いたり、小学生を対象に食育活動を積極的に取り組んでこられました。また、県指導農業者として、県農業士会連絡協議会副会長を歴任し、地域の活性化、農業の発展、食育活動に尽力されました。

果樹・野菜・花きの県単独事業紹介

【日本一の果樹産地づくり事業】

戦略品種の早期産地化を目指した改植・高接の促進や、輸出専用産地の育成、マルチ栽培・スマート農機の導入等生産対策の強化を図る取組を総合的に支援します。

対 策	事 業 内 容	補助率
戦略品種の早期産地化	戦略品種への改植・高接	1/2以内
	スマート農機等の新技術・新機器導入、小規模園地整備、ハウスの高度化、マルチ・節水型かん水施設等の高品質につながる機械施設 等	1/3以内
輸出の促進	輸出専用産地への改植・高接	1/2以内
	防風ネット、農薬ドリフト防止ネット、輸出検疫対応施設、冷蔵・冷凍施設 等	
生産対策の強化	スマート農機等の新技術・新機器導入、小規模園地整備、ハウスの高度化、マルチ・節水型かん水施設等の高品質につながる機械施設、地域新品目の導入、集出荷貯蔵施設 等	1/3以内
推進事業	機能性などの調査研究PR、実証ほの設置、栽培技術研修会の開催 等	1/2以内

【次世代野菜花き産地パワーアップ事業】

高度な環境制御装置等ICT技術の導入やハウスの高度化の整備など、生産から流通、販売まで総合的に支援します。

対 策	事 業 内 容	補助率
生産性の向上	ICT等の新技術を使った機械設備（環境制御装置、農業用ドローン、炭酸ガス発生装置 等）	1/3以内
	省力化機械（播種機、定植機、収穫機 等）	
	高品質化につながる機械設備（高設栽培装置、自動換気装置、養液栽培装置、遮熱ネット 等）	
施設園芸の拡大	集出荷貯蔵施設（予冷・冷蔵庫、選別機、袋詰機 等）	1/2以内
	ハウスの高度化（耐風性ハウス、耐暑性ハウス 等）	
推進事業	省エネ機械（循環送風機、多重カーテン、多段サーモ、ヒートポンプ 等）	1/2以内
	育苗施設 等	
推進事業	通いコンテナリース、研究会開催、新戦略商品の開発 等	1/2以内

〈事業主体〉JA、出荷団体、協議会、農業者 等

※ 予算の都合上、ご要望に添えない場合があります。詳細は海草振興局農業水産振興課までお問い合わせください。

スマート農業実践塾のご案内

スマート農業技術の現場導入を加速化するため、スマート農業フェアや生産現場での実演会に加え、令和2年度からスマート農業実践塾（施設園芸コース、果樹コース）を開催しています。

令和2年度の開催概要

〈施設園芸コース〉

主に各試験場にて、施設環境制御の専門家による実践的な座学に加え、現地において実演指導を実施。

講師：株式会社デルフィージャパン 麻生英文氏

〈果樹コース〉

各地域の現地ほ場にて、メーカー等を講師に迎え、農薬散布用ドローン、リモコン式草刈り機といったスマート農機の操作講習を実施。

講師：株式会社未来図、株式会社東海近畿クボタ



農薬散布用ドローンの講習（下津）

令和3年度も開催予定！

クビアカツヤカミキリに注意！

もも・うめ・すもも・さくらなどの樹を食害します！

クビアカツヤカミキリの被害は、県内では岩出市、紀の川市、かつらぎ町、橋本市で確認されています。

幼虫はもも・うめ等のバラ科樹木の内部に食入します。繁殖力が非常に強く、発生すると大きな被害をもたらす恐れがあります。

クビアカツヤカミキリが加害した樹には、大量のフラス（木くず・幼虫の糞などが混じったもの）が溜まっていたり、うどん状のフラスの排出がみられます。

もも・すもも・うめを栽培されている方は、畑をよく見回り、フラスを確認した場合は農業水産振興課までご連絡下さい。



令和3年度人事異動による転出入についてお知らせ

転出			転入		
旧職名	氏名	新職名	旧職名	氏名	新職名
主査	衛藤 夏葉	県農業試験場 主任研究員	農業生産局 果樹園芸課 主査	仲 慶晃	主査
副主査	岡野 樹	農業生産局 果樹園芸課 副主査	県農林大学校 副主査	佐々岡 詠子	主査
技師	伊藤友祐	農林水産生産局 経営支援課 技師	新規採用	向井 和希	技師

若手職員紹介

令和2年度採用の田端と申します。主に野菜、和歌山市河西に関する業務を担当させていただいております。まだまだ未熟ではありますが、皆様のお役にたてるよう精一杯努めますので、よろしくお願いいたします。

